

あかばねいわぶちちゅうがっこう 赤羽岩淵 中学校

にほんごがっきゅう 日本語学級

日本語指導が必要な生徒に日本語を教えています。生徒の日本語力によって、週1〜3回（1回2時間）日本語学級に通級して日本語を勉強します。

	ごぜんつうきゅう 午前通級のとき	ごごつうきゅう 午後通級のとき
1・2時間目	じぶん ちゅうがっこう 自分の中学校	8:40-10:10 家→日本語学級
3・4時間目		じぶん ちゅうがっこう 自分の中学校
5・6時間目	1:45-3:35 日本語学級→家	

日本語の勉強だけではなく、社会や理科など学校の教科と日本語をあわせて教えています。日本語の力と教科の力の両方を高めて、中学校での授業が分かるように教えています。また、将来のことや中学校を卒業した後のことを考える進路学習も行っています。中学校卒業後の進路を切り拓けるよう教えています。

こんな生徒が勉強しています

- 日本に来たばかりで、日本語が話せない生徒
- 日常会話はできても、漢字が読めない・書けない、教科書が読めない生徒
- 日本生まれや、小さいときに日本に来て、話すことは問題がなくても、教科書や本を読んで理解できない、まとまった作文を書くことが苦手な生徒

北区の日本語学級

北区には小学校3校（堀船小・西が丘小・西ヶ原小）、中学校2校（赤羽岩淵中・明桜中）に日本語学級があります。生徒の中学校によってどの日本語学級に通級するかが決まっています。

あかばねいわぶちちゅうがっこうにほんごがっきゅう 赤羽岩淵中学校日本語学級	あかばねいわぶちちゅう いなつけちゅう うきまちゅう かみやちゅう 赤羽岩淵中・稲付中・浮間中・神谷中 きりがおかちゅう じゅうじょうふ じみちゅう たきのがわこうようちゅう 桐ヶ丘中・十条富士見中・滝野川紅葉中
めいおうちゅうがっこうにほんごがっきゅう 明桜中学校日本語学級	めいおうちゅう あすかちゅう おうじさくらちゅう たばたちゅう ほりふなちゅう 明桜中・飛鳥中・王子桜中・田端中・堀船中

こんな勉強をしています

生徒の日本語力・学力などに応じて一人一人にあわせた勉強をします。

	～3か月	～6か月	～1年	～2年	2年～ 必要に応じて
入級・指導開始	サバイバル日本語				
	日本語 初級前半（聞く・話す中心） 初級後半（読む・書く中心） 中級				
	ひらがな・カタカナ・漢字 漢字250 漢字500 500～				
	教科と日本語の統合学習（JSLカリキュラム）				
	教科の補習（主にテスト前）：数学・英語→理科・社会・国語・実技教科				
	行事作文（運動会・修学旅行等）・文化発表会展示（母文化紹介）等表現活動				
	3年：進路学習（面接・作文・教科学習）				
	指導終了・退級				

～3か月：サバイバル（入門）6時間（週3回・赤羽岩淵中生徒は週5回）

- 学校生活に最低限必要なコミュニケーションやひらがな・カタカナ・基本的な漢字を勉強します。
- 学校の授業に少しでも参加できるよう、日本語が分からなくてもできる英語や数学の計算を勉強します。

～1年：初級 6→4時間（週3→2回・赤羽岩淵中生徒は週5→4回）

- 日常会話や基本的な読み書きができるよう、言葉・漢字・文法を勉強します。
- 漢字は1年間で基本的な250個を目標に勉強します。漢字の勉強と同時に、語彙・表現を学習し、音読みの熟語の語彙を増やします。
- 中国など漢字圏出身者は、日本語と中国語の漢字の違いや、日本語の読み方（音読み・訓読み）を勉強します。
- 学校の授業に参加できるよう、色々な教科を取り入れて日本語を勉強します。
- 日本語と教科の統合学習（JSLカリキュラム）を始めます。
- 数学や理科、世界地理などの教科の内容と、日本語を合わせて勉強します。

ねん ちゅうきゅう じかん しゅう かい あかばねいわぶちゅうせいと しゅう かい
~2年：中級：4~2時間（週2→1回・赤羽岩淵中学生は週4→2回）

- 日常会話だけではなく、幅広い話題が理解できるように読み書きを中心に勉強します。
- 漢字は500個を目標に勉強します。音読み熟語の語彙を増やして、学校の授業が理解できるようにします。
- 日本語と教科の統合学習（JSL カリキュラム）で、理科や社会、国語など教科の内容と、日本語を合わせて勉強します。色々な教科の内容を日本語で理解して、授業に参加できるように勉強します。

ねんせい
(3年生)

- 高校入試に向けて進路学習をします。高校の種類や場所や特徴を調べたり、高校見学や模擬試験や検定試験を申し込んだり、自分の今の実力を知り、自分に合った学校を見つけたりする学習をします。また、面接で自分のことを日本語でしっかり話したり、まとまった作文を書いたりする練習をします。
- 3月には「受験体験報告会」を行い、高校受験や日本語学級での学習を振り返って発表し、2年生にアドバイスします。

なつやす ふうやす べんきょうかい
夏休み・冬休み勉強会

なつやす ふうやす べんきょうかい がっこう なつやす しゅくだい
夏休みや冬休みには、勉強会をしています。学校の夏休みの宿題をサポートしたり、漢字や数学の基本的な計算の勉強をしたりしています。

しどうきかん たいきゅう めやす
指導期間・退級の目安

- 学校生活に参加でき、教科内容が理解できるようになり、通級による日本語指導の必要性がなくなったら指導終了、退級となります。
- 日本語指導は小学校と合わせて基本は2年間ですが、日本語指導が必要な場合延長申請することができます。認められると続けて通級することができます。

指導体制・生徒数など

3人の教員と、日本語適応指導員1人の4人で教えています。

中国・ネパール・フィリピン・バングラデシュ・ベトナム・ミャンマーにつながるのある生徒20人が勉強しています。(2021年9月現在)

日本語学級に入るには…

中学校の担任の先生に伝えてください。担任の先生と生徒と保護者と日本語学級担任で入級面談をします。入級が決まれば入級申込書を書いてから担任の先生に渡してください。

管理職の先生、担任の先生：

外国から編入し、日本語がゼロの生徒の場合、早く指導が開始できるように分かり次第ご連絡ください。また、日本生まれや幼少期の来日で、会話は問題なくても作文が書けない、学力が伸びない場合、日本語力に原因があることがあります。生徒の様子に気付いたらぜひご連絡ください。

日程を調整の上、該当生徒、保護者、担任の先生、日本語学級担任で入級面談を行います。入級申込書は保護者が記入後、担任所見と通級経路等をご記入の上、学事係に交換便でお送りください。

日本語を勉強するとき大切なこと

日本語を覚えるのには時間がかかります。日常会話は1～2年、学校の授業が分かるようになるのには5～7年かかると言われています。すぐには学校の成績が上がらないことが多いですが、がんばれば少しずつ伸び、日本語と母語の2つ以上の言葉ができるようになります。毎日、少しずつがんばりましょう。

反対に、母語は使わないと忘れてしまいます。そして、今の母語の力は小中学生レベルなので、母語も伸ばす必要があります。母語でしっかりと考えることができる生徒は日本語も早く伸びます。家では母語を使ってください。学校のこと、自分の国のことやニュースなど色々な話を母語でたくさんしてください。困ったこと、相談したいことがあれば日本語学級まで連絡してください。